

非常放送のしかた (1) 自火報 (感知器起動)



(階別信号入力)
感知器から
信号がくる。
(第1報)

発報連動停止 表示灯を消灯させる

点灯している場合、本体マイクドア内の
”発報連動停止スイッチ”で「消灯」に
切り換えてください。(出荷時：消灯)

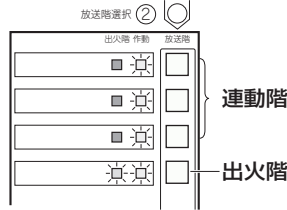
1 出火階、連動階に発報放送が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。係員が確認
しておりますので、次の放送にご注意ください。」

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)



- 火災灯点滅(赤色)
- 出火階表示灯点灯(赤色)
- 階別の作動表示灯点灯(緑色)



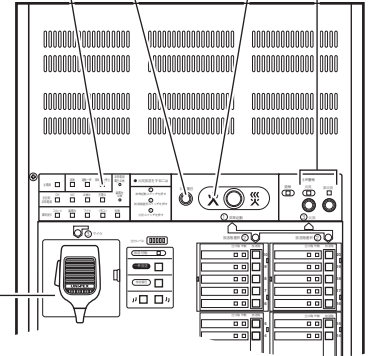
※ 発報連動停止 消灯 5 1 2

本体マイクドア内
発報連動停止
階情報指定



押すと表示が
切り換わる

非常・業務兼用マイク
(本体マイク)



2 操作を選択する

● 火災 → 火災放送または非常起動スイッチ
を押す。3へ

● 非火災 → 非火災放送スイッチを押す。
Bへ

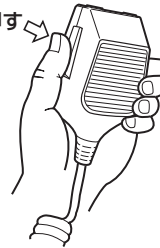
以下の場合には自動的に火災放送されます。

- ・ 発信機起動
- ・ 第2感知器作動
- ・ 非常電話作動
- ・ 第1タイマータイムアップ(2~5分)



A 状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している階
に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、
本体マイクは全館一斉放送と
なります。
- 火災放送時、本体マイクで放送
した後、本体マイクスイッチを
切ると第2シグナル音が鳴り
ます。

・ 放送階を選択し直すとき

① 放送復旧スイッチを押す。

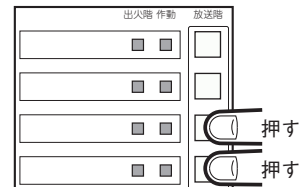
② 必要な階を選択し、再び
本体マイクで放送する。

放送復旧



押す

放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は
放送復旧スイッチで復旧することはできません。

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「火事です! 火事です! 〇階で火災が発生しました。落ち着
いて避難してください。」

ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると
一斉火災放送に移行します。→4へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチ
を押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

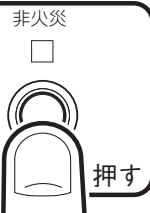
非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧
スイッチを押しても非常放送は復旧し
ません。)



B 「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、
異常がありませんでした。ご安心ください。」



- ◆ 事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆ 必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(2) 自火報 (感知器起動)

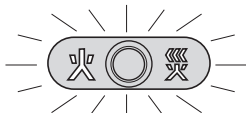
(階別信号入力)
感知器から信号がくる。
(第1報)



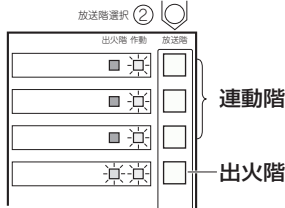
1 火災音信号が鳴る

ピー、ピー、ピー

(発報放送は放送されません。)



- 火災灯点滅 (赤色)
- 出火階表示灯点灯 (赤色)
- 階別の作動表示灯点灯 (緑色)



発報連動停止 表示灯を点灯させる

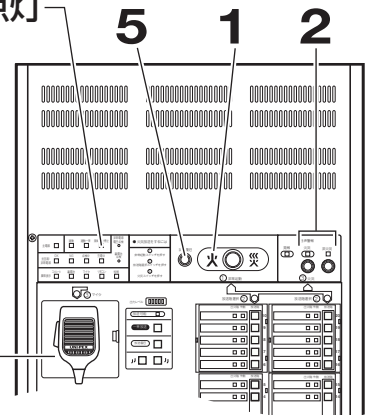
消灯している場合、本体マイクドア内の「発報連動停止スイッチ」で「点灯」に切り換えてください。(出荷時：消灯)

※ 発報連動停止 点灯

本体マイクドア内
発報連動停止
ブロック指定

押すと表示が
切り換わる

非常・業務兼用マイク
(本体マイク)



2 操作を選択する

- 火災 → 火災放送または非常起動スイッチを押す。3へ
- 非火災 → 非火災放送スイッチを押す。Bへ

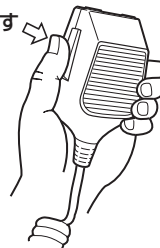
以下の場合には自動的に火災放送されます。

- ・ 発信機起動
- ・ 第2感知器作動
- ・ 非常電話作動
- ・ 第1タイマータイムアップ(2~5分)



A 状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している際に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

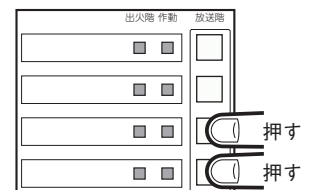
・ 放送階を選択し直すとき

- ① 放送復旧スイッチを押す。
- ② 必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

放送復旧



放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「火事です!火事です!〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→4へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



B 「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



- ◆ 事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆ 必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(3)自火報 (発信機・非常電話起動(発報))

(階別信号+火災確認信号の同時入力)
発信機・非常電話から信号がくる。
(第1報)



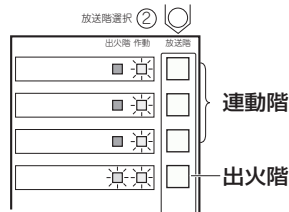
1 出火階、連動階に発報放送が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「ただいま○階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)

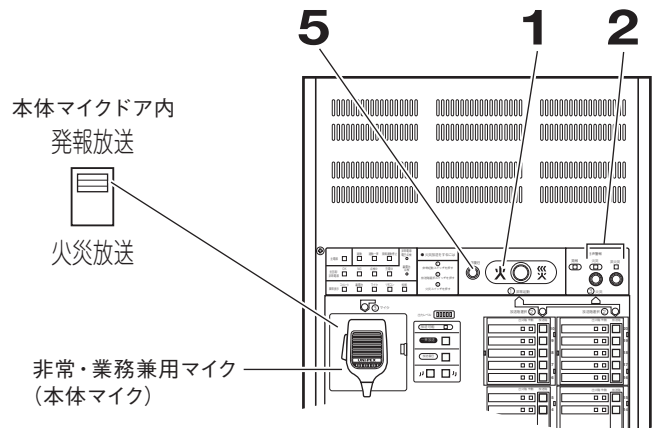


- 火災灯点滅(赤色)
- 出火階表示灯点灯(赤色)
- 階別の作動表示灯点灯(緑色)



「発報放送」設定にする

本体マイクドア内の”発報放送／火災放送
切換スイッチ”を「発報放送」側にしてくだ
さい。(出荷時：発報放送)



2 操作を選択する

●火災 →火災放送または非常起動スイッチ
を押す。3へ

●非火災 →非火災放送スイッチを押す。
Bへ

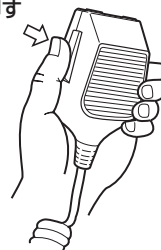
以下の場合には自動的に火災放送されます。

- ・第2感知器作動
- ・発報放送終了



A 状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

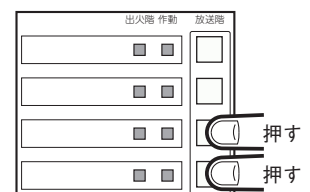
・放送階を選択し直すとき

- ①放送復旧スイッチを押す。
- ②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

放送復旧



放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」

ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→4へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



B 「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

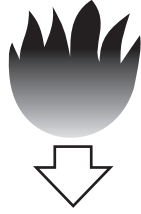


- ◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(4)自火報 (発信機・非常電話起動 (火災))

(階別信号+火災確認信号の同時入力)
発信機・非常電話から信号がくる。
(第1報)



1 出火階、連動階に火災放送が放送される

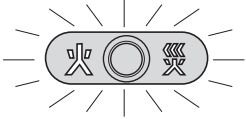
ピンポン ピンポン ピンポン

「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」

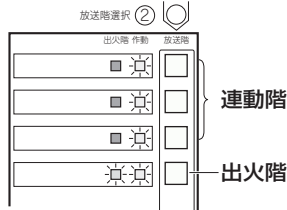
ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)

- 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→2へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。



- 火災灯点灯 (赤色)
- 出火階表示灯点灯 (赤色)
- 階別の作動表示灯点灯 (緑色)



2 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。
- 本体マイクで放送する場合は(A)へ
- 「非火災」放送を放送する場合は(B)へ

3 非常復旧スイッチを押す

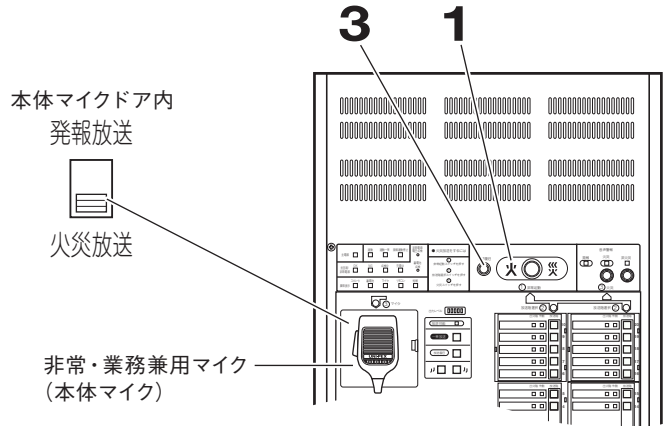
非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

非常復旧



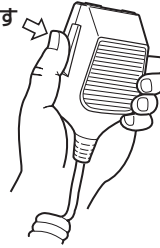
「火災放送」設定にする

本体マイクドア内の「発報放送/火災放送
切換スイッチ」を「火災放送」側にしてくだ
さい。(出荷時:発報放送)



(A)状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している際に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

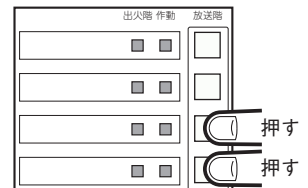
・放送階を選択し直すとき

- ①放送復旧スイッチを押す。 ②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

放送復旧



放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

(B)「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

非火災

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



- ◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(5) 手動 (発報)



手動起動には、手動連動と個別手動の2種類があります。(出荷時は手動連動)
詳しくは工事説明書(本編)24ページをご覧ください。

1 非常起動スイッチを押す。

- 放送階選択指示灯が点滅

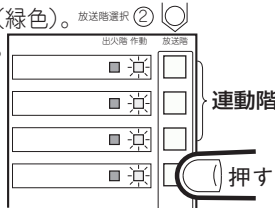


2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

押した場所が出火階となり、発報放送が放送されます。一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。

- 放送階・連動階の作動表示灯が点灯(緑色)。
- 放送階選択指示灯が点灯(オレンジ色)。

ピンポン ピンポン ピンポン
(第1シグナル音)
「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」



3 操作を選択する

- 火災 → 火災放送または非常起動スイッチを押す。4へ
- 非火災 → 非火災放送スイッチを押す。Bへ

以下の場合には自動的に火災放送されます。

- ・ 発信機起動
- ・ 第2感知器作動
- ・ 非常電話作動
- ・ 第1タイマータイムアップ(2~5分)

4 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン
「火事です!火事です!火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュービュービュー(第2シグナル音)

- ※ ● 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→5へ
- ※ ● 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

※2で一斉放送スイッチを押している場合は関係ありません。

5 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

6 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)



「発報放送」設定にする

本体マイクドア内の「発報放送/火災放送 切換スイッチ」を「発報放送」側にしてください。(出荷時:発報放送)

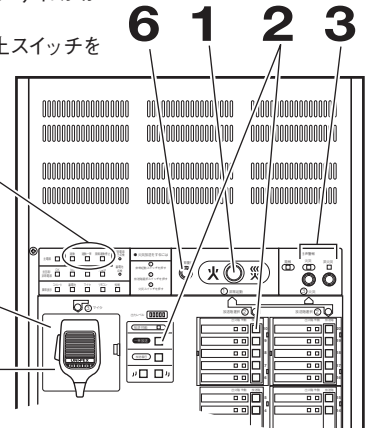
自火報の接続に関係なく、連動表示灯または連動一斉表示灯のいずれかが常時点灯します。
マイクドア内の発報連動停止スイッチを押している場合は、発報連動停止表示灯も点灯します。

本体マイクドア内

発報放送

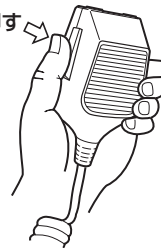
火災放送

非常・業務兼用マイク
(本体マイク)



A 状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

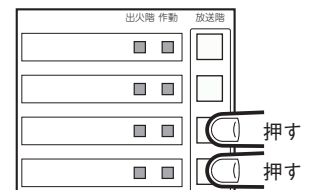
・ 放送階を選択し直すとき

- ① 放送復旧スイッチを押す。
- ② 必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

放送復旧



放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

B 「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

非火災

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



- ◆ 事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆ 必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(6) 手動 (火災)



手動起動には、手動連動と個別手動の2種類があります。(出荷時は手動連動)
詳しくは工事説明書(本編)24ページをご覧ください。

1 非常起動スイッチを押す

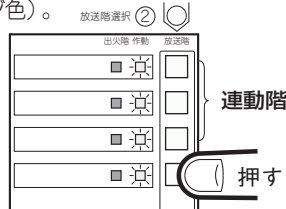
- 放送階選択指示灯が点滅



2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。

- 放送階・連動階の作動表示灯が点灯(緑色)。
- 放送階選択指示灯が点灯(オレンジ色)。



3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン
「火事です!火事です!火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュービュー (第2シグナル音)

- ※● 第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→4へ
- ※● 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

※2で一斉放送スイッチを押している場合は関係ありません。

4 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

非常復旧



「火災放送」設定にする

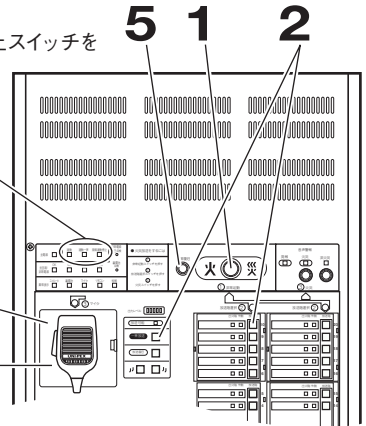
本体マイクドア内の「発報放送/火災放送 切換スイッチ」を「火災放送」側にしてください。(出荷時:発報放送)

自火報の接続に関係なく、連動表示灯または連動一斉表示灯のいずれかが常時点灯します。
マイクドア内の発報連動停止スイッチを押している場合は、発報連動停止表示灯も点灯します。

本体マイクドア内
発報放送

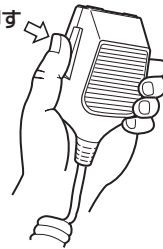
火災放送

非常・業務兼用マイク
(本体マイク)



A 状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

スイッチを押す



- 作動表示灯が点灯している際に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

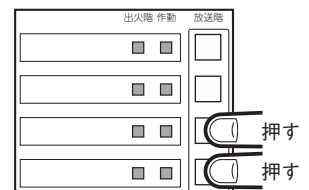
・放送階を選択し直すとき

- ① 放送復旧スイッチを押す。
- ② 必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

放送復旧



放送階選択指示灯が点滅。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

B 「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

非火災

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



- ◆ 事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
- ◆ 必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。